



沢島 ひでたか通信 Vol.23

「認知症なっても展」を活用し、認知症対策を推進！

令和3年4月に待機児童ゼロへ！ 「フレイル予防」をさらに推進！

第1回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和2年2月19日(趣意)



子育て支援・教育

母子保健システムの導入について

質問 我が会派がネウボラについて一番訴えてきたポイントのひとつが、情報の一元化と各部署間の連携でした。

今回、地域保健課、各保健相談所、子ども家庭支援センター、子ども発達相談センター等が一元的に情報共有できるシステムが導入されることは画期的です。

妊娠前から18歳まで、切れ目の無い支援を実現する為に、その内容や効果についてお伺いします。

答弁 (区長) 母子保健システムを導入することにより、妊婦・乳幼児検診、相談記録、予防接種等の情報が一元化され、地域保健課、中央・恵比寿・幡ヶ谷の保健相談

所、子ども家庭支援センター、子ども発達相談センター等にて、速やかに共有できるようになります。

情報の一元化と各所管の連携強化、組織として支援状況を的確に把握することにより、きめ細かい支援と専門性を活かした重層的な支援を実現してまいります。

待機児童対策について

質問 これまでも待機児童解消に向けて定員拡大を行ってきました。さらに令和2年度も319人の定員増、令和3年度は4月開設予定が5施設と、着実に待機児童数が減少しています。

来年4月に待機児童ゼロを目指す決意をお聞かせください。

答弁 (区長) 平成28年度から平成31年度までの間に、許認可保育園等27園を整備し、定員は1929人増加した536人となりました。その結果、待機児童数も92人にまで減少しています。

現在は、新年度の2次申

込み受付中ですが、地域によっては0歳クラスや、1歳クラスに若干の空きがあり、待機児童数も大幅に減少する見通しです。今後も、計画的に整備を進め、令和3年4月に待機児童ゼロを目指し、様々な待機児童対策を着実に進めてまいります。



教育の無償化について

質問 公明党が長年、実現へ取り組み、昨年10月からスタートした

幼児教育・保育の無償化、そして本年4月からスタートする私立高校授業料の実質無償化、大学や専門学校など高等教育の無償化の「3つの無償化」が本格的に始まり、幼保から大学までの「無償化」が切れ目なくなります。

そこで、私立高校無償化の手続きの漏れが無いよう、区立中学校では、どのような周知を行っているのかお伺いします。

答弁 (教育長) 各区立中学校にパンフレットが配布されており、進路コーナーへの設置や学校作成の「進路だより」に情報を載せるなど、保護者への制度の周知が行われています。



福祉

認知症予防について

質問 昨年第4回定例会にて、わが会派からの「とっとり方式認知症プログラム」導入についての質問に対し、「認知症なっても展」を活用したモデルケースとして実施し、令和3年度から、区内全域で実施していきたい。また、所管職員を視察させたい。」との答弁をいただいておりますが、その後の取り組み・進捗についてお伺いします。

答弁 (区長) 「認知症なっても展」での実施に向け、地域包括支援センターや認知症予防学会との調整と並行し、視察を踏まえ、渋谷区医師会をはじめ、リハビリテーション専門職や認知症施策に関わる区内ボランティア団体とも調整を始めております。

また、指導者の育成・確保のための体制整備や、実施後の受け皿となりうる社会資源など、プログラム参加を入口とした継続的な社会参加が可能な仕組み作りも併せて検討しています。

認知症対策を提案

質問 「注文を間違える料理店」は、認知症の人たちと一緒に普通の暮らしができる寛容な社会を作りたいという思いで、立ち上げられた事業です。

レストランのホールスタッフ全員が認知症の方で、注文を間違えたり、違ったテーブルに持って行ってしまったりすることもありますが、『注文を間違える料理店』という看板を出すことで、「間違えても、まあいいか」という暖かい空気が生まれるということとです。

「認知症なっても展」において、『注文を間違える料理店』或いは『喫茶店』を開催してみたいかがでしょうか。

そして、次の段階として、短期間ではなく、常設の店舗として開設していきけないでしょうか。

答弁（区長）「認知症なっても展」において、本区の認知症カフェであるオレンジカフェを活用したいと思います。

また、常設の店舗を、とのご提案ですが、令和3年5月開設予定の高齢者ケアセンター跡地複合施設の地域交流スペースでの開催を検討してまいります。

フレイル予防について

質問 平成30年の第4回定例会にて、フレイル予防について質問し、「フレイルチェック」や「フレイルサポーター」等の重要性についても取り上げさせていたいただきましたが、渋谷区における「フレイル予防」について、さらなる積極的な取り組みをお願いしたいと思えます。

答弁（区長）来年度さらに普及啓

発を進め、フレイル予防の柱である「運動」「栄養・口腔」「社会参加」に焦点をあてた内容の講演会等を渋谷区主催で実施し、高齢者の間にフレイルに関する早期の気付きや予防に取り組む機運の醸成を図ってまいります。

また、フレイル予防の観点からは、「人や社会とのつながり」が重要な鍵となり、高齢者がそれぞれに予防に取り組むだけではなく、地域の中で役割や生きがいを持ちながら様々な活動を行っていくことも重要であると考えています。そうした観点から「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ」との連携も視野に入れて検討してまいります。

盲導犬・補助犬の理解促進について

質問 平成30年の第2回定例会において、わが会派より、「盲導犬など補助犬が区内店舗に気軽に入れるような環境づくりをしていただきたい」と提案させていただきました。

渋谷区の多くのお店や施設に「補助犬ウエルカムシール」が掲示されるよう、啓発、広報のその他の取り組み・進捗についてお伺いします。

答弁（区長）貴会派のご提案を受け、日本盲導犬協会がハチ公前広場で開催した「盲導犬受け入れ拒否をなくそうキャンペーン」を支援し、区ニュースや渋谷ラジオでも、情報発信に積極的に取

り組んできました。

今後は、区が開催している食品衛生実務講習会において、啓発パンフレットや「ほじょ犬シール」を配布し、飲食店などへの周知をより徹底するとともに、区ニュースやSNSによる啓発も強化してまいります。



防犯

防犯カメラの整備について

質問 昨年の第1回定例会で我が会派の質問に、「区立公園に、防犯カメラの設置を拡充し、緊急時には警備員が駆けつける警備業務の導入します。」と答弁をいただいておりますが、整備内容・進捗についてお伺いします。

答弁（区長）公園における防犯カメラの設置は、新たに113公園に272台を設置し、既存のものも含めて、120公園に合計314台の設置を完了する予定です。

また、今年度から、警備会社が防犯カメラの画像を見ながら公園の安全を確認し、スピーカーから日本語、英語、中国語、韓国語でのマナー啓発を行う業務を新たに追加しています。

警備員が24時間いつでも駆け付ける業務や防犯カメラの設置を知らせるポスターの掲示と合わせて、更なる安全・安心の確保とマナー向上の啓発を推進してまいります。



環境

そ族（鼠）対策について

質問 今、渋谷区は都市開発の影響もあってか、ねずみが大発生し、住民からの苦情が絶えません。そ族（鼠）対策の内容を伺います。あわせて、効果が認められた場合は、渋谷駅周辺のみでなく、範囲を拡大していただきたいと思えます。

答弁（区長）駆除に効果がある薬剤散布を実施するとともに、雨量の少ない時期にマンホール内に捕獲機を設置します。

鼠の餌場を作らない、巣を作りにくい環境づくりの取り組みを町会、商店街、営業事業者とも連携して取り組み、効果の検証が明らかになった際には、地域の拡大につきましても検討したいと思えます。

渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま 英隆
渋谷区議会議員 **沢島ひでたか**

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1 TEL. 03-3463-1036
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室 FAX. 03-5458-4962

